

プログラム名	Education through Art
交流先大学	アラバマ大学
目的	美術を通じた文化理解
実施内容	アラバマ大学にて教員が日本美術についての授業を実施。 さらに千葉大学がアラバマ大学の学生へ向けて日本の美術の動画を作成し、交流した。
オンライン交流の形態	非同期のみ
オンライン交流の実施期間	2024 年 10 月 1 日～2025 年 1 月 31 日
実渡航の有無	実渡航あり
派遣期間	2024 年 9 月 14 日～2024 年 9 月 22 日
参加人数	千葉大学 16 名、アラバマ大学 29 名
受講生の感想	オンライン：アラバマ大学の学生は課題に対しても深い洞察を加えたレフレクションペーパーが多くみられた。アラバマでの授業（講義、伝統工芸の制作）も熱心に取り組んでくれた。日本の学生には負担の大きな授業であるにも関わらず、全員が全ての活動に参加して課題を完成することができた。相手がいることで頑張れたり、自分の作成したものに対してもらえるコメントが学習への動機づけや満足感につながっていた。段階的に取り組むようにしたため、授業時間外での学習の負担も適切なものだったようである。 渡航：
プログラムの良い点	千葉大学とアラバマ大学では授業の一部として実施しているプログラムで、通常の授業の中に組み込むことができるといふ一つの例となる。また、教員養成系と専門美術といった異なるコース同士が日本の美術文化をテーマにしてプログラムを行っている点もユニークである。東アジアの美術を取り扱うことは、多様性、社会包摂、持続可能性などの現代的課題にもつながるテーマであり、オンライン交流によって学ぶことでより深い学びに繋がられている。また、長年に渡りプログラムを改善しながら実施する点は教員にとっても多くの学びがある。